

体系図（イメージ）

まちの将来像

懐かしさと新しさが交わる
みんなのところが ^{なご}和むまち かたの

まちづくりの目標

1. みんながのびのびと遊び、みんなが安心して暮らすまち
2. みんなが笑顔にあふれ、互いに認め支え合えるまち
3. みんなが助け合い、安心して住み続けられるまち
4. みんながつどい、交流が生まれるまち
5. みんなで自然や文化を慈しみ、次世代に引き継いでいくまち

基本姿勢

- (1) 多様な主体との協働
- (2) 持続可能な行財政運営

■ まちの将来像

懐かしさと新しさが交わる みんなのところが ^{なご}和むまち かたの

(主旨)

古くからの伝統文化と緑あふれる自然環境に恵まれ、素朴でゆったりとした風土が育まれてきた本市は、市民憲章に「和（自然と・文化と・人と）」を掲げ、自然との調和を図りながら都市基盤整備を進めることにより、安らぎのある雰囲気はそのままに、新しい出会いや可能性が感じられるまちとして発展してきました。

まちが成熟するとともに人口が減少局面に入り、少子高齢化、災害や感染症、社会インフラの老朽化などのリスクにより、これまで当たり前であった暮らしの安心・安全を維持していくことが難しい時代に入っています。

このような背景から、本市がこれまで大切にしてきた、人と自然、古さと新しさ、多様な考え方などが交わり、調和し、認め合う価値観を強みとして、急速に変化していく社会にしなやかに、かつ大胆に対応しながら、みんなが穏やかな暮らしを営み続けることができる“このころのふるさと”としてあり続ける姿を表現しました。

■ まちづくりの目標

1. みんながのびのびと学び、みんなで子どもを育むまち

- 未来を担う子供たちが、家庭をはじめ、学校や地域など、様々なまちのメンバーと交わる環境の中で、主体的にのびのびと学んでいくことで、豊かで思いやりの心が育まれていくまちを目指します。
- 子育て世代が安心して子どもを産み、子育てをすることができる環境や、子どもたちの心と体が健やかに育つ環境が整う、ここで子育てをしたいと感じてもらえるまちを目指します。

2. みんなが笑顔にあふれ、互いに認め支え合うまち

- みんながいつまでも住み慣れた地域で、主体的な健康づくりやスポーツ・文化活動などの生きがいを持ち、健康で充実した生活を送ることができるまちを目指します。
- みんなが年齢や性別、国籍などにかかわらず、それぞれの価値観や生き方を尊重し、お互いに認め合い、支え合うことで、共に笑顔で安心して暮らすことができるまちを目指します。

3. みんなが助け合い、安心して住み続けられるまち

- 大規模災害などのリスクに対し、みんながそれぞれの立場で備えを進め、適切な行動と助け合いにより、被害を最小限にすることができる、災害に強いまちを目指します。
- みんなで地域における繋がりや助け合いの仕組みを維持し、安心して日常を送ることができるまちを目指します。

4. みんながつどい、交流が生まれるまち

- 恵まれた自然環境や立地特性を活かし、みんなの交流や活動が促される、将来にわたって元気なまちを目指します。
- まちの道路や緑、生活インフラなど、快適に暮らせる良好な住環境を維持し、みんなが住みたい、住み続けたいと感ずることができ、魅力あふれるまちを目指します。

5. みんなで自然や文化を慈しみ、次世代に引き継いでいくまち

- みんなで豊かな自然や風土、文化を守り、活かしていくことで、大切な地域資源を次世代に引き継いでいくことができるまちを目指します。
- みんなが共通の持続可能な世界のイメージを持ち、環境負荷の少ない暮らしや活動を進め、地球規模で未来に貢献できるまちを目指します。

■ 基本姿勢

(1) 多様な主体との協働

- 少子高齢化と人口減少が進み、地域課題や市民ニーズが複雑多様化する中、行政の力だけで基本構想に掲げるまちの将来像やまちづくりの目標を実現できるものではありません。行政、市民、団体、事業者など、まちづくりに関わる多様な主体が、様々な分野において、お互いの立場を理解し、それぞれの強みを活かしながら、連携・協力することが大切です。
- 市民や団体、事業者などがそれぞれの分野で活躍できる環境を整えるとともに、まちづくりにおける連携や参画のための仕組みを整えるなど、地域の多様な力を活かしたまちづくりに取り組みます。

(2) 持続可能な行財政運営

- 行政は、財政運営の見通しが厳しい状況にあっても、複雑多様化する行政課題に対応しながら、将来にわたって必要な行政サービスを、安定的に提供しなければなりません。
- 限られた財源や人材、施設などの資源を、最適かつ効果的に活用することで、将来にわたって持続可能な行財政運営に取り組みます。
- 進化する情報通信技術を積極的に活用し、住民目線に立った行政サービスの利便性向上と、行政事務の効率化を図るため、全庁的なDX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組みます。

「まちの将来像」の検討経過について

(1) 市民ワークショップにおけるまとめ

分野別に班分けを行い、ワークショップの参加メンバーがそれぞれ興味のある班に参加し、分野（班）ごとに「目指すまちの姿」を検討・整理しました。

また、これらの「目指すまちの姿」が全て実現した交野市をイメージしたキーワードや、キャッチフレーズを各班で検討しました。

分野		目指すまちの姿	
A班	子育て・教育系	①子どもが自ら学びたいと思えるまち ②のびのび育てられるまち ③欲しいときに欲しい分だけ支援を受けられるまち	
B班	健康・福祉・人権・多文化共生系	①笑顔が交わせるまち ②つくるまちづくりから育てるまちづくりへ ③誰もが情報に困らないまち	
C班	防災・安全・安心・住まい系	コミュニケーションのまち	①みんなが気軽に話せてコミュニケーションがとれるまち ②みんなが寄り添い、優しく、穏やかに見守り合っているまち ③里山を身近に感じ、交通アクセスが良く、いつまでも住みたいと思えるまち
D班	都市環境系	①フラッと寄りたいまち ②自然を体験できるまち ③心の風景があるまち	
E班	自然・文化・歴史・生涯学習系	①あらゆる人がいきいきと活動できるまち ②市と市民が思いを共有できるまち ③環境を活かすまち	



「目指すまちの姿」が実現した交野市を表すキャッチフレーズ	
A班：	自然が、ひとが、つながり育ち合うまち☆かたのみどりが笑顔を醸成するまち☆かたの
B班：	ゆったりのにびやか みんなの力で（でも）ダイナミックに進化するまち
C班：	あ～やこうのゆうても ほっこりゆったり「和」むかたの
D班：	きらめく創造 なつかしくて新しい～まじわるまち交野～
E班：	みんなが主体的に・つながり・やすらぎ・挑戦・全てが交わる ⇒ 自然・生活・子育て 先進「環境」

(2) 庁内検討ワークグループにおけるまとめ

交野市第5次総合計画について検討を行う庁内の若手職員で構成されるワークグループ（このワークグループのメンバーは市民ワークショップにも参加）にて、先述のワークショップでまとめたキャッチフレーズや、ワークショップでの議論をふまえ、次のとおりキーワードを整理しました。

庁内検討ワークグループにて整理したキーワード

- ▶ ほっこり 交わる 和む（まち） かたの
- ▶ 懐かしくて新しい 懐かしさと新しさが交わる みんなのまち かたの
- ▶ みんなの思いが交わる ころの風景 かたの

(3) 事務局におけるまとめ

上記の過程及び市民意識調査の結果等を踏まえ、第5次総合計画基本構想に掲げる「まちの将来像」の案として、次のとおりまとめました。

まちの将来像

懐かしさと新しさが交わる みんなのころが ^{なご}和むまち かたの

「まちづくりの目標」の検討経過について

市民ワークショップで整理された各分野における「目指すまちの姿」をベースに、市民意識調査等の結果や将来に向けての課題を踏まえ、事務局にて5本の柱として整理しました。

分野		目指すまちの姿
A班	子育て・教育系	①子どもが自ら学びたいと思えるまち ②のびのび育てられるまち ③欲しいときに欲しい分だけ支援を受けられるまち
B班	健康・福祉・人権・多文化共生系	①笑顔が交わせるまち ②つくるまちづくりから育てるまちづくりへ ③誰もが情報に困らないまち
C班	防災・安全・安心・住まい系	コミュニケーションのまち ①みんなが気軽に話せてコミュニケーションがとれるまち ②みんなが寄り添い、優しく、穏やかに見守り合っているまち ③里山を身近に感じ、交通アクセスが良く、いつまでも住みたいと思えるまち
D班	都市環境系	①フラッと寄りたいまち ②自然を体験できるまち ③心の風景があるまち
E班	自然・文化・歴史・生涯学習系	①あらゆる人がいきいきと活動できるまち ②市と市民が思いを共有できるまち ③環境を活かすまち



No.	まちづくりの目標（案）	含まれる分野（案）
1	みんながのびのびと学び、みんなで子どもを育むまち	子育て、教育
2	みんなが笑顔にあふれ、互いに認め支え合うまち	健康、福祉、生涯学習、地域コミュニティ、平和、人権、多文化共生
3	みんなが助け合い、安心して住み続けられるまち	防災、防犯、消防、交通・生活安全、住まい
4	みんながつどい、交流が生まれるまち	都市基盤、商工業、観光、移住・定住促進
5	みんなで自然や文化を慈しみ、次世代に引き継いでいくまち	環境、文化、農業